社会福祉法人シナプス　埼玉精神神経センター広報誌　Vol.211

シナプス

2026年11月

ご報告　2026年11月3日（火）「知って安心！脳の健康フェスタ」へのご来場ありがとうございました。

たくさんのお客さまにお越しいただき、職員一同とても嬉しく思っております。
たくさんの笑顔あふれるフェスタになりました。そして、イベントを一緒に盛り上げてくださった出店者の皆さま、本当にありがとうございました。また皆さまにお会いできることを楽しみにしております。





オープニング　与野鴻沼太鼓の皆さんによる圧巻のステージ!!









グルメ屋台
「百石ファーム＆いもやん」の焼き芋と地元野菜が仲間入り!!大好評の「レオック」の脳いきいき弁当や、「かどや」「埼玉福祉事業協会」「ヤクルト」の美味しいグルメがズラリ☆





体験コーナー
認知症VR体験や住まいセミナー、認知症・お薬相談、骨密度測定、歩行解析等、認知症フレンドリーまちづくりセンターの活動展示



医療安全対策委員会
防災食の無料試食や、防災グッズの無料配布













フリーマーケット
手作りの品から掘り出し物まで大盛況!!



午前のステージ
無料MRI抽選会とMCIクラブ体操
（座ってできる筋トレ）

午後のステージ
丸木雄一医師による講演や「これでいいのだバンド」の皆さんによる演奏



インフルエンザワクチン予防接種　コロナワクチン予防接種のお知らせ



〇インフルエンザワクチン
接種期間：2026年9月26日(土)～2027年1月30日(土)（日祝日は除く）
接種時間：月～金14：00～17：00（受付13：45～16：45）
　　土曜日10：00～12：00（受付 9：45～11：45）、14：00～16：00（受付13：45～15：45）
接種料金：公費対象者の方（さいたま市在住の65歳以上） 1,600円
　　一般接種の方（生後6ヶ月以上）3,500円
受付場所：療養棟1階入口自動ドア付近（院内駐車場側の出入口）

※12月は、接種時間が変更になる場合があります。

〇新型コロナワクチン（ファイザー社コミナティワクチン）
接種期間：2026年10月1日(木)～2027年3月31日(水)（土日祝日は除く）
接種時間：月～金曜14：00～16：00（受付13：45～15：45）
接種料金：公費対象者の方（さいたま市在住の65歳以上） 8,000円
　　一般接種の方（12歳以上）15,000円
受付場所：本館1階インフォメーション

【お持ちいただくもの（公費対象者）】
1. 身分証明書（公費対象の方のみ）
「マイナンバーカード」「運転免許証」「介護保険証」いずれか**氏名・住所**が印字されているもの。
2. 無料に該当する方は証明書類をご提出ください。
（詳細は当院ホームページをご確認ください）

年末年始 外来診療のご案内 12月29日（火）～1月3日（日）は休診とさせていただきます。

11月は医療安全推進月間です

今年度のテーマ

「平時からその時のために できることを考えよう」



こちらのパズルポスターは
本館１階エレベーター前に掲示しております。

それぞれの部署が日々の業務の中で取り組んでいること、災害や緊急時に「自分たちの部署では何ができるか」を考えました。１つのピースだけでは完成しないパズルのように、「１部署１部署の取り組みが集まって、みんなの安全をつくる」ということを、目に見える形で表現しました。

休診・代診のお知らせ（11/4現在）

脳神経内科

島津医師	11/ 4（水）午後休診
〃	11/ 5（木）午前休診
瀧口医師	11/ 6（金）午前休診
丸木雄一医師	11/14（土）午前休診
宮野医師	11/14（土）午前休診
門前医師	11/19（木）午前休診
丸木雄一医師	11/21（土）午前休診
坂井医師	12/ 3（木）午前休診

精神科

安永医師	11/19（木）午前休診

7階展望レストランよりお知らせ

11/ 5日（木）美腸キムタクビビンバ
11/13日（金）まろやか腸活カルボナーラ
11/17日（火）秋野菜と鶏むね唐揚げの南蛮だれ
11/27日（金）W発酵パワー！旨辛チゲラーメン

※予定が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

営業時間のご案内
喫茶　10：00～15：00
お食事　11：00～14：00

11月は
腸活フェア‼
食べにきてね！



秋から冬へ…　今年もあと2か月を切りました。



11月を「霜月（しもつき）」と呼ぶのは、文字通り「霜が降りる月（霜降月＝しもふりつき）」が略されたという説が最も一般的です。旧暦の11月（現在の12月頃）は本格的な冬の寒さとなり、大地に霜が降りる時期であったことに由来します。

なぜ旧暦と新暦とでは約1か月もの違いがあるの



日本で明治5年（1872年）まで使われていた旧暦は「太陰暦」と呼ばれ、月の満ち欠けの周期を基準に1か月を定めていました。太陰暦では1か月が約29.5日となるため、29日と30日の月を交互に配置して1年を約354日としています。太陽の動きに基づく季節よりも約11日短いため、3年ほどでおよそ1か月分のずれが生じます。そこで、数年に一度「閏月（うるうづき）」と呼ばれる13か月目の月を設け、季節とのずれを調整していました。

一方、現在使われている新暦は「太陽暦」で、地球が太陽の周りを一周する周期（約365.24日）を1年とし、4年に1度、1年を366日としてずれを修正する「閏年」を設けています。
日本では明治6年（1873年）から太陽暦が採用されました。新暦が使われ始めた時、旧暦の明治５年12月3日を明治6年1月1日としたため、旧暦と新暦では実際の季節感が1か月ほど早まった印象になったのです。

「AminaFlyers　和風月名「霜月」って何月のこと？霜月と呼ばれるようになった由来とは」より一部引用

「シナプス」２０２６年１１月号 VOL.２１１
発行日：２０２６年１１月４日
発行元：社会福祉法人シナプス　埼玉精神神経センター 総務
発行責任者：岡田　浩一
住　所：さいたま市中央区本町東６－１１－１
ＴＥＬ：０４８－８５７－６８１１（代表）
ＵＲＬ：https://saitama-ni.com　Ｅ-ｍａｉｌ：sni-support@saitama-ni.com

埼玉精神神経センター理念

Love ＆ Sympathy（愛と思いやり）
Aging with Dignity（尊厳ある人生）
Narrative based Medicine
（個人の人生観に沿った物語を支える）

病める方・悩める方に愛と思いやり（**Love & Sympathy**）を持って接し、その方の尊厳ある人生（**Aging with Dignity**）を支え、前向きに人生の物語を書き換えていくこと（**Narrative based Medicine**）をお手伝いする。